

「震災後のふくしま」をしなやかに生き抜くには

ふくしま心のケアセンター

平成28年度 講演会

東日本大震災から6年が経とうとしています。

「震災があってから、自分の生き方が大きく変わってしまった」
「震災がなかったらこんな風に自分の人生について考えることも
なかったかもしれない」
「これまで描いていた未来像が変わってしまった」

福島に住む方なら、福島を生きることに震災前とは違う「違和感」を感じているのではないのでしょうか。

揺らいだ心の整理と
福島で生活するということ
をどう考えていけばいいか
を見つめなおしてみませんか

講演

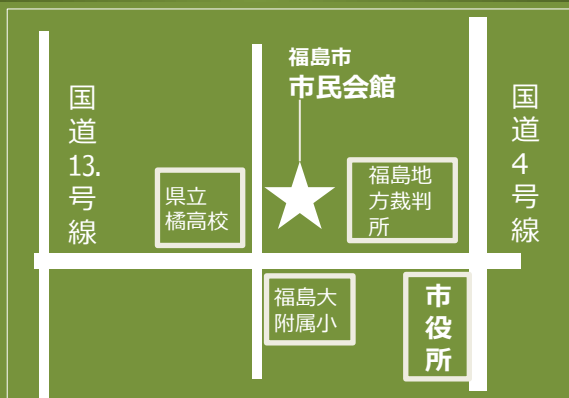
ふくしまを 生きる

～それぞれの思い、
それぞれの決断～

講師紹介

メンタルクリニックなごみ 副院長 / 福島県臨床心理士会 副会長
須藤康宏 先生 (臨床心理士 精神保健福祉士)

震災後相馬市でメンタルクリニックなごみを開院。
崩壊してしまった相双地区の精神科医療の立て直しをされながら、
現在も地域医療保健福祉分野の牽引に力を注いでおられます。



日 時

平成29年 2月 28日 (火)

13:00～15:15 12:30受付開始

会 場

福島市市民会館 501号室

対 象

どなたでも
入場無料 定員70名

主催 一般社団法人 福島県精神保健福祉協会
ふくしま心のケアセンター
(主管 ふくしま心のケアセンター県北方部センター)

後援 福島県県北保健福祉事務所

福島市
福島県臨床心理士会
NPO法人ビーンズふくしま

★連絡先

ふくしま心のケアセンター 県北方部センター
024-533-4161